

**製品名: ME3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13764**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	67kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ME3
別名	ME3; NADP-dependent malic enzyme; mitochondrial; NADP-ME; Malic enzyme 3
遺伝子 ID	10873.0
SwissProt ID	Q16798
免疫原	抗血清はヒト ME3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 545-594

**背景**

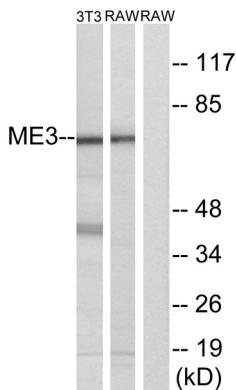
マリック酵素は、NAD+またはNADP+を補酵素として、マレートからピルビン酸への酸化的脱炭酸反応を触媒します。哺乳類組織には、マリック酵素の3つの異なるアイソフォーム（細胞質 NADP(+)依存性アイソフォーム、ミトコンドリア NADP(+)依存性アイソ

フォーム、およびミトコンドリア NAD(+)依存性アイソフォーム) が存在します。この遺伝子は、ミトコンドリア NADP(+)依存性アイソフォームをコードします。この遺伝子には、複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっていますが、一部のバリエーションの生物学的妥当性は未だ解明されていません。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: (S)-マレート + NADP(+) = ピルビン酸 + CO(2) + NADPH、補酵素: 二価金属カチオン。マグネシウムまたはマンガンを好む。類似性: リンゴ酸酵素ファミリーに属する。組織特異性: 分裂率の低い臓器で主に発現する。、

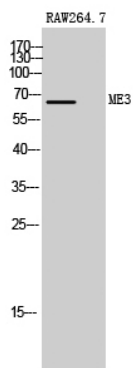
## 研究分野

ピルビン酸代謝;

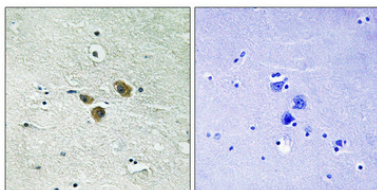
## 画像データ



ME3 抗体を用いた RAW264.7 細胞および NIH/3T3 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ME3 ポリクローナル抗体を用いた RAW264.7 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。